

AN-FL1

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

取り付け作業が完了しましたら、この取扱説明書はお客様へお渡しく下さい。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ/カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

© パイオニア株式会社 2003

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KNKZF/03G00000 > < CZR8038-C >

carrozzeria

必ずお読みください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

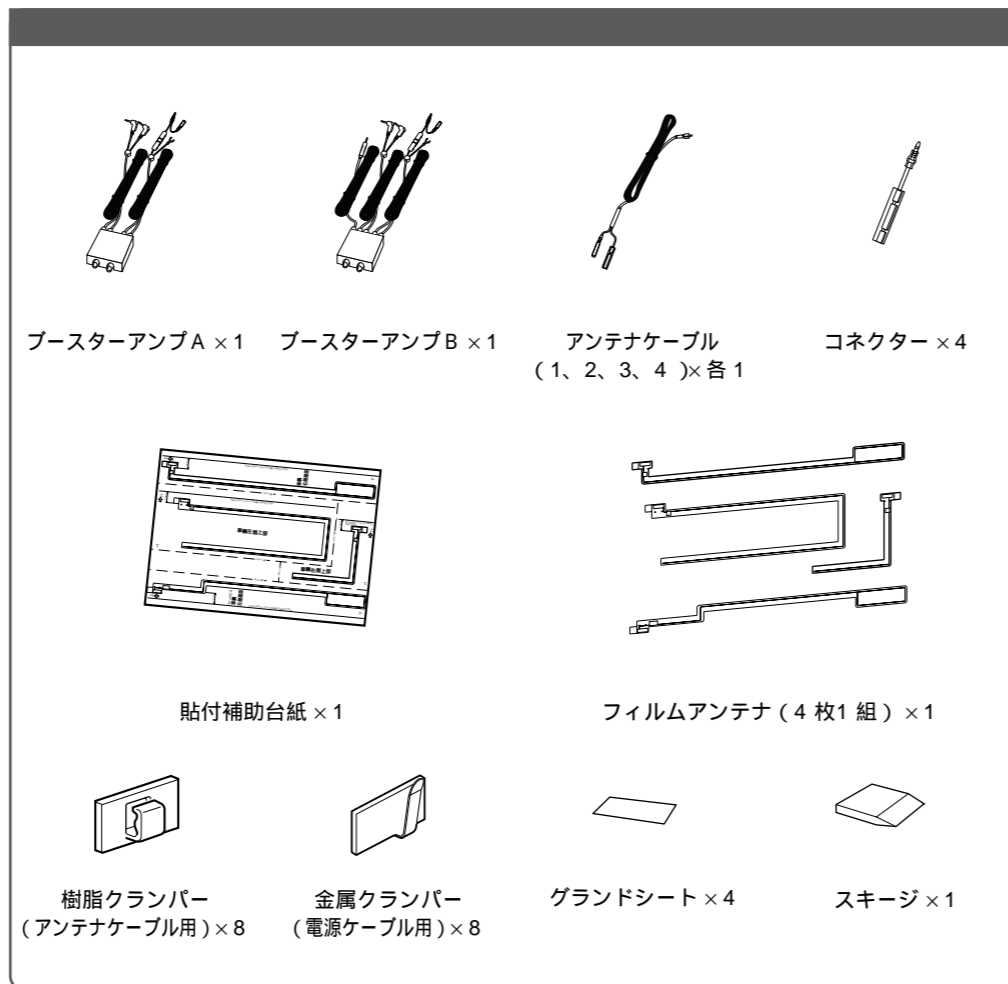
この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

接続・取り付け部品を確認する



貼り付ける前に

AN-FL1は、フロントウィンドウ専用です。車体の側面(ドアやフロントクォーターウィンドウなど)や、後面(リアウィンドウなど)に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。

車種によって、取り付けられない場合があります。販売店に相談してください。

熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。

ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けることができません。必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。

保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。

保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。

中性洗剤の水溶液などでダッシュボードを汚さないように、布などで覆ってください。

フィルムアンテナを接続する機器(TVチューナーなど)の説明書も合わせてご覧ください。

フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。




必ずコードおよびフィルムアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

貼り付け手順

本製品を貼り付ける手順は次のとおりです。

- 1 貼付位置を確認後、貼付補助台紙を切り取り、フロントウィンドウの外側から貼り付ける
- 2 車輦の内張りを取り外す
- 3 アンテナケーブルを配線して、樹脂クランパーで固定する
- 4 ブースターアンプとアンテナケーブルを接続する
- 5 グランドシートを貼り、シートの中央にアースを貼り付ける
- 6 ブースターアンプをダッシュボード下などの運転の妨げにならない場所に貼り付ける
- 7 フィルムアンテナをフロントウィンドウの内側から貼り付け、アンテナの位置を確認し微調整する
- 8 コネクターをフィルムアンテナの金属部に貼り付ける
- 9 アンテナケーブルにコネクターを接続する
- 10 AN-FL1とパイオニア製のTVチューナーやナビゲーションを接続する
- 11 車輦の内張りを元に戻す

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 注意	このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
 禁止	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
 必ず行う	このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意（別紙の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。


ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。


[取り付け]

貼付許容範囲内に取り付ける

 国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法（貼付許容範囲内）に貼り付けしないと、道路交通法違反となります。

必ず行う

はがれないようにしっかり取り付ける

 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて、事故の原因になります。時々点検してください。

必ず行う

貼り付け位置について

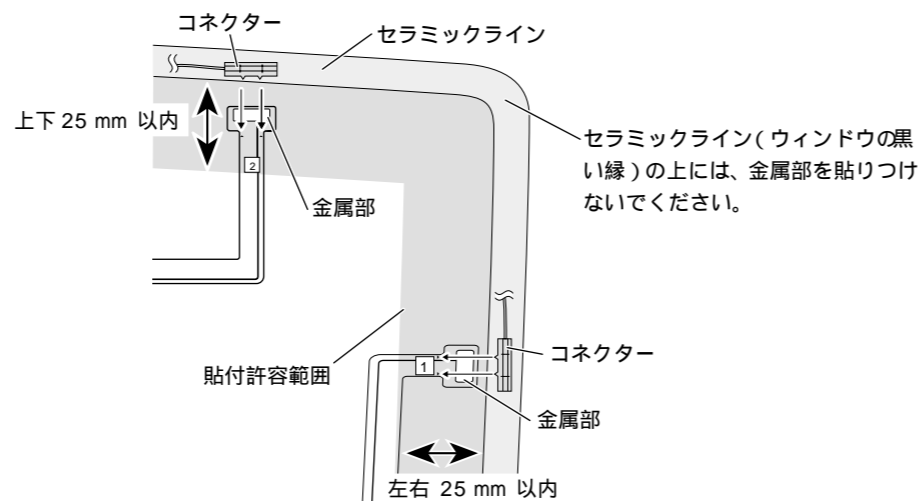
必ずお守りください

保安基準に適合させるため、また、性能を十分に発揮させるために、必ず下図の「貼付許容範囲について」の位置に貼り付けてください。



貼付許容範囲について

フィルムアンテナの金属部およびコネクターは、必ずフロントウィンドウの貼付許容範囲内に貼り付けてください。貼付許容範囲外に貼り付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。



貼付補助台紙を貼る

貼り付けのポイント

各台紙は、貼り付ける位置や向き、貼付許容範囲が決まっています。貼り付け位置をよく確認してから、正しく位置を決めてください。

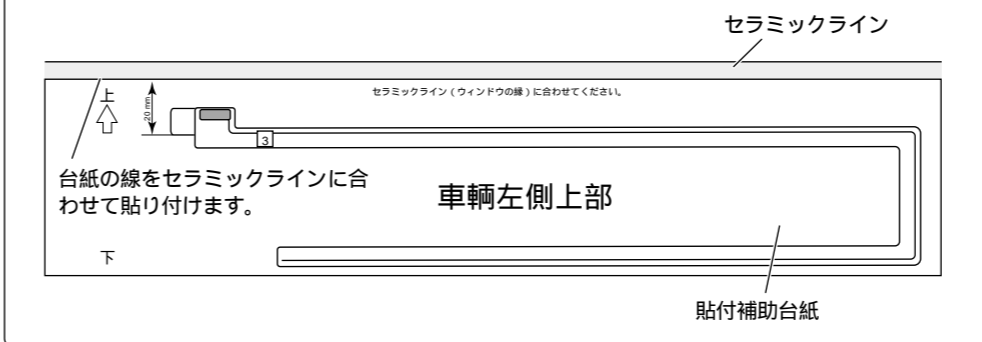
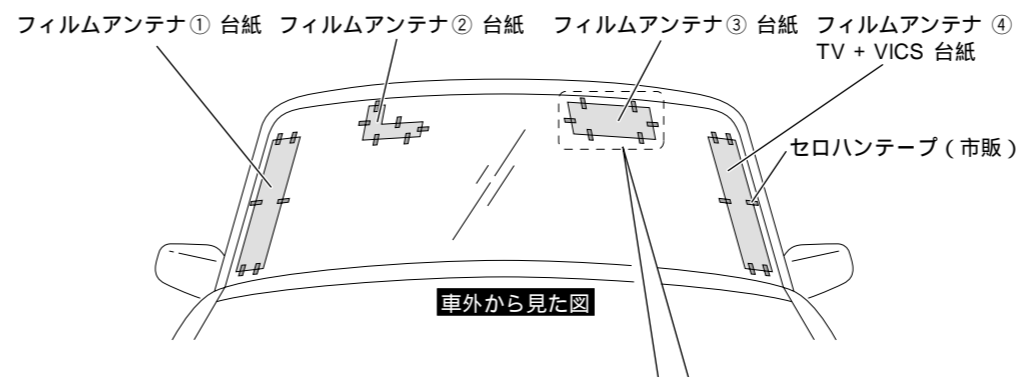
はじめから細かく貼り付け位置を決めず、コードの配線後、コネクターなどの位置を確認しながら微調整してください。

各台紙の位置や向きが正しく貼り付けられているか、車内から確認してください。

1 貼付補助台紙を、キリトリ線に沿ってはさみで切り取る

2 印刷面を車内側に向けて、フロントウィンドウの外側に貼付補助台紙を貼り付ける

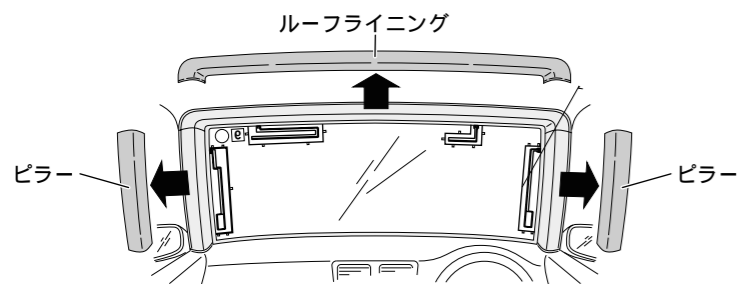
市販のセロハンテープで貼り付けます。



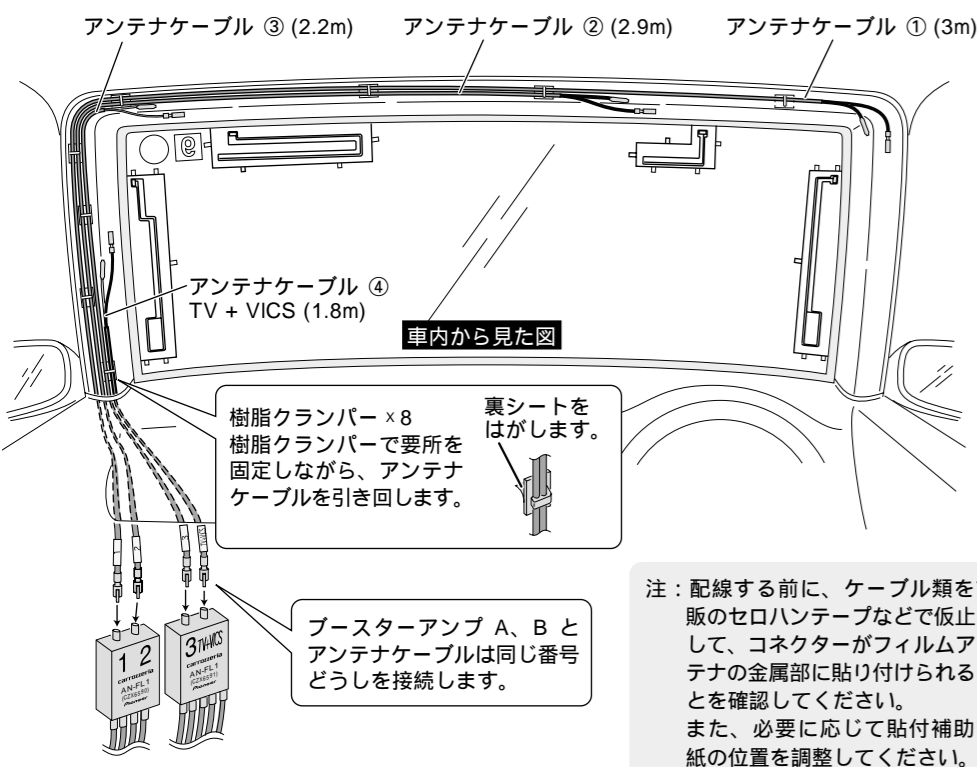
貼り付け時の位置ズレを考慮して、貼付補助台紙ではセラミックラインから20mm以内を推奨しています。

アンテナケーブルを配線する

1 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



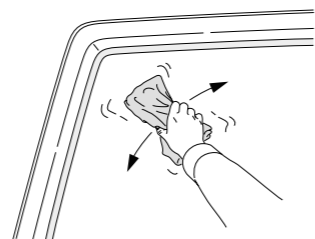
2 貼付補助台紙を目安に、ケーブルを引き回す



フィルムアンテナを貼り付ける

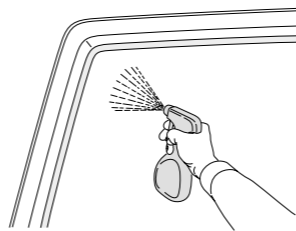
1 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、クリーナークロスなどで取り除いてください。



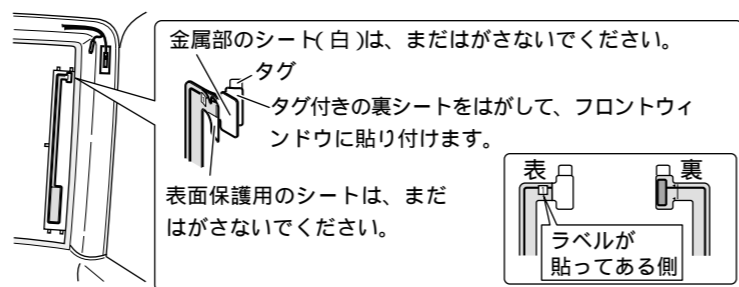
2 中性洗剤の水溶液をフロントウィンドウ内側に吹き付ける

霧吹きなどを使って中性洗剤の水溶液を吹き付けます。水だけの吹き付けはしないでください。



注： 中性洗剤の水溶液の濃度は、水500ccに対して、中性洗剤1～2滴が適量です。濃度が高いと、フィルムアンテナがうまく貼り付きません。中性洗剤の水溶液のぬめりを利用して、フィルムアンテナの貼付位置を微調整するので、必ず中性洗剤の水溶液を吹き付けてください。（水では微調整できません。）中性洗剤の水溶液などでダッシュボードを汚さないように、布などで覆ってください。

3 フィルムアンテナの裏シートをはがし、貼付補助台紙に合わせてアンテナを貼り付ける



注： 金属部のシート(白)は、まだはがさないでください。金属部に中性洗剤の水溶液がかかると、故障の原因になります。作業中にフロントウィンドウが乾いた場合は、再度中性洗剤の水溶液を吹き付けてください。貼付位置がずれた場合は、フロントウィンドウが濡れている間に微調整してください。フィルムアンテナを貼り付けた後、貼付補助台紙をはがしてください。接着面の気泡などが見つけやすくなります。

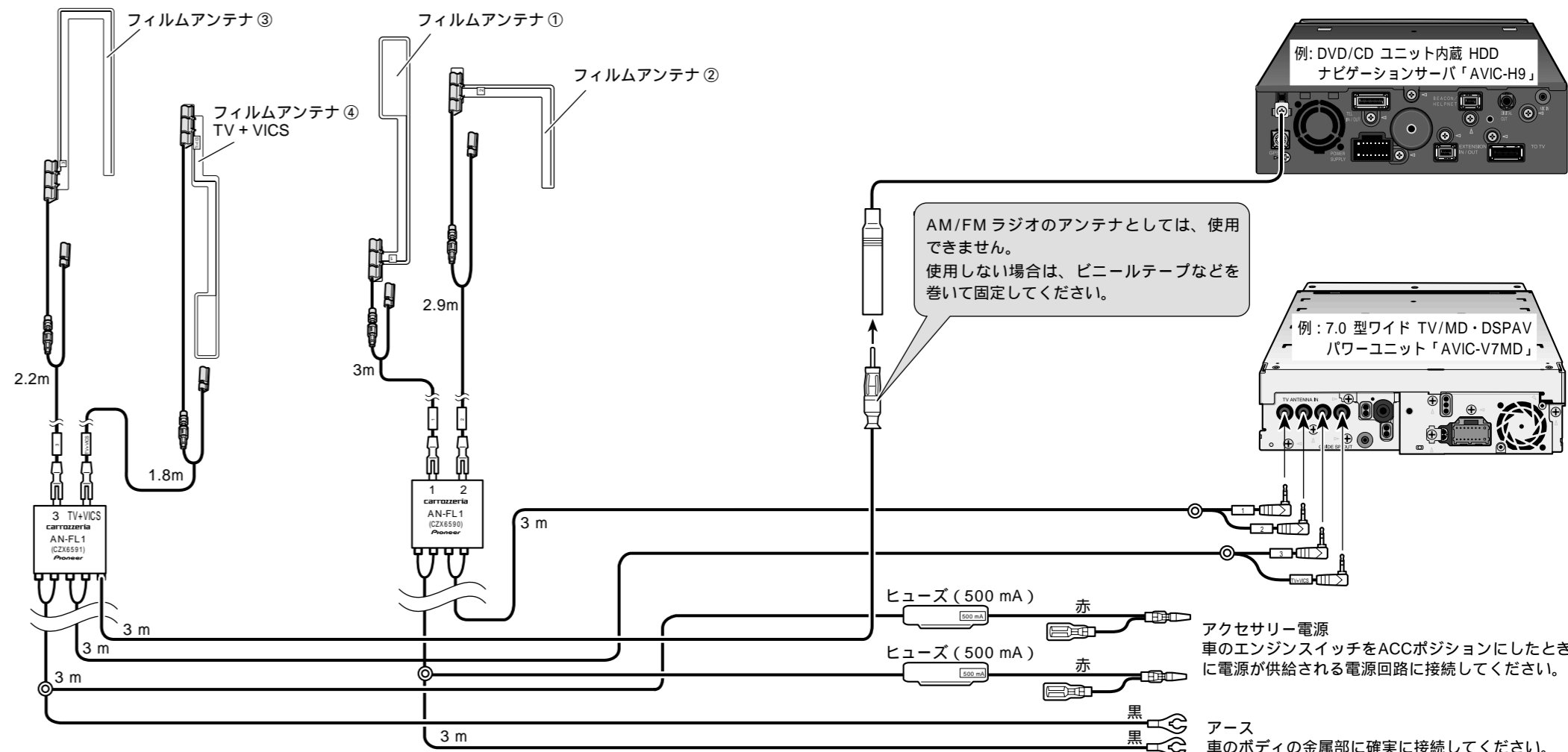
接続する

接続上のご注意

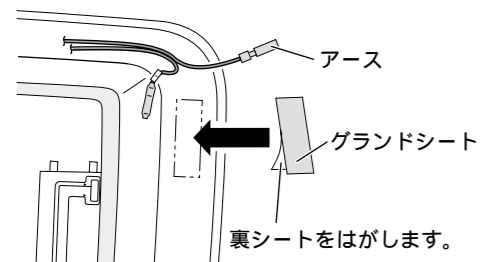
本機は、エンジンスイッチにACCポジションがない車では使用できません。絶対に取り付けないでください。取り付けると、バッテリー上がりの原因になります。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

ノイズ防止のため、TVアンテナのアンテナコードは、電源リード線、スピーカーコード、車側のコード類からできるだけ離して配置してください。また、ナビゲーションと組み合わせる場合は、TVアンテナおよびアンテナコードは、GPSアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

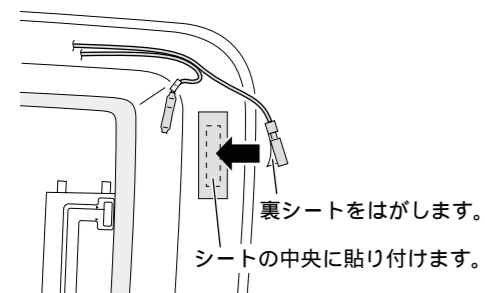


3 アースを貼る場所に、グランドシートを貼る

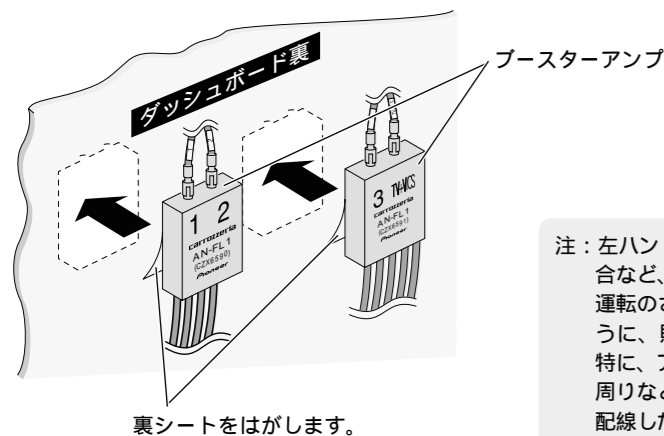


注：フィルムアンテナの性能を十分に発揮させるために、グランドシートは車輛の平らな金属面に密着させて貼り付けてください。

4 アースの裏シートをはがして、グランドシートの中央に貼り付ける



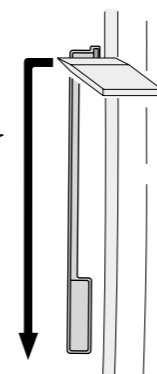
5 ブースターアンプを、ダッシュボード裏などに貼り付ける



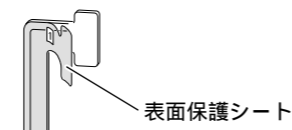
注：左ハンドル車に取り付ける場合など、ブースターアンプが運転のさまたげにならないように、貼り付けてください。特に、アクセル・ブレーキの周りなどには、貼り付けたり配線したりしないでください。

4 スキージで、フィルムアンテナをしっかりと密着させる

フィルムアンテナに沿って、気泡が入らないようにしっかりとスキージで密着させてください。また、あまり強くこするとフィルムアンテナに傷がついたり、断線する恐れがあります。



5 フィルムアンテナの表面保護用のシートをはがす

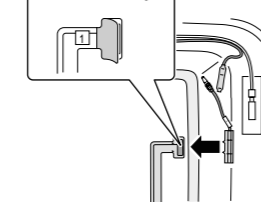


6 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

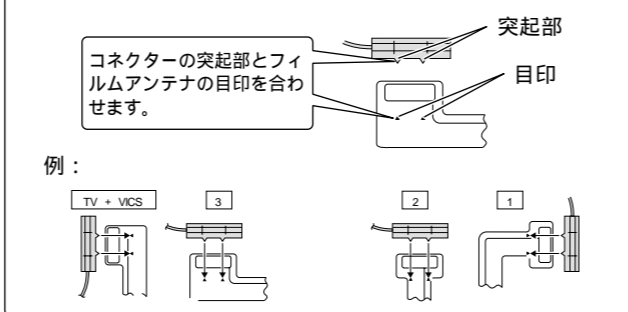
フロントウィンドウ内側の余分な中性洗剤の水溶液を拭き取ります。拭き取るときにフィルムアンテナを動かさないように気を付けてください。そのまましばらく放置し、十分に乾燥させてください。

7 コネクターをフィルムアンテナの金属部に貼り付ける

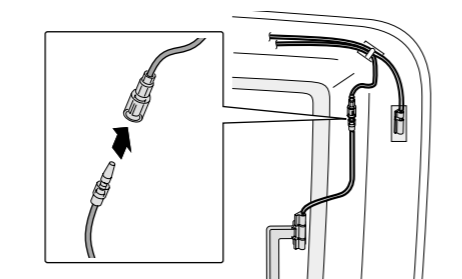
金属部保護用のシートをはがします。



端子の貼付位置について
コネクターの突起部を、フィルムアンテナの目印に合わせて貼り付けます。コネクターの貼付位置がずれると、フィルムアンテナの金属部との接触が悪くなり、十分な性能を発揮できません。下図を参考にして正確に貼り付けてください。



8 コネクターの接続部分を、各アンテナケーブルに接続する



9 内張りを元に戻す

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

仕様

使用電源	DC14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	マイナスアース方式
最大消費電流	2 ch 出力アンプ部 : 80 mA 2 ch + FM 多重出力アンプ部 : 120 mA
アンテナインピーダンス	75 (ミニプラグ、JASOとも)
出力端子	3.5 mm ミニプラグ x 4 (TV 出力) JASO標準プラグ (FM多重出力)
アンテナケーブル長	1 : 3.0 m (アンテナ~アンプ部) / 3.0 m (アンプ部~プラグ) 2 : 2.9 m (アンテナ~アンプ部) / 3.0 m (アンプ部~プラグ) 3 : 2.2 m (アンテナ~アンプ部) / 3.0 m (アンプ部~プラグ) 4 : (TV + FM多重) : 1.8 m (アンテナ~アンプ部) 3.0 m (アンプ部~プラグ)
	アクセサリコード、アースコード : 3.0 m
外形寸法	フィルムアンテナ : 1 : 390 x 25 mm 2 : 107 x 120 mm 3 : 284 x 80 mm 4 : 396 x 25 mm ブースターアンプ : 43 x 55 x 17 mm
質量	630 g (フィルムアンテナ、アンテナケーブル、ブースターアンプ全て含む)

メモ

本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。